

昭和大学医学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針・卒業時の達成目標）

「至誠一貫」の精神のもと、医学・医療の発展と国民の健康増進と福祉に真心を持って寄与する人材を育成することを目的としています。この目的を達成するためのカリキュラムを履修し、定められた修業年限の中で以下に関する基本的能力を身につけた者に学士(医学)の学位を授与します。

1. プロフェッショナリズム

- 人間性豊かな患者中心の医療を実践する責任感と倫理観を有する。
- 患者ならびに患者家族に対して、真心・誠意を持って接する。
- 医療を実践するための法律やルールを遵守し、医療安全に配慮する。

2. コミュニケーション能力

- 相手を思いやる真心を持ち、広く良好な人間関係を構築することができる。
- 自分の考えをわかりやすく言語や態度で正確に伝えることができる。
- 患者や家族、医療関係者などとの間で情報の収集と提供を適切に行うことができる。

3. 患者中心のチーム医療

- 医療をともに担う多職種の職能を理解・尊重して、良好な人間関係を構築し、患者に関わる情報を共有できる。
- 多職種と連携・協力しながら、患者中心の医療を実践できる。

4. 専門的実践能力

- 基礎医学・臨床医学の幅広い知識と技能を有し、適切な医療面接、基本的診察技法、臨床推論、検査・治療計画の立案などの科学的根拠に基づいた医療を実践できる。

5. 社会的貢献

- 社会医学の幅広い知識を有し、公共の福祉に寄与できる。
- 地域医療に参加し、地域住民の健康回復・維持・向上に貢献できる。

6. 自己研鑽

- 論理的、批判的に問題を解決する能力を身につけるとともに、国際的視野を持って最新の知識や技能を生涯にわたって獲得する意欲と態度を有する。
- 医療における自らの行動を常に省察して、自らの向上に努める。

7. アイデンティティー

- 昭和大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。